

MPパウダー正しい攪拌方法

【正しい順序】

- ①基準水量を入れます。(MP-H:11~12ℓ MP-M:10~11ℓ MP-L:8.5ℓ MP35:11ℓ)
- ②材料の7割程度入れて約2分間攪拌します。
- ③残りの材料を入れて約5分間攪拌します。
※最初は材料が固いですが練れば練るほど柔らかくなります。加水せずに攪拌してみてください。
- ④0.5~1ℓまでの加水であれば調整可能です。

《注意点》

◆計量バケツ等で正確に基準水量を守って下さい。

【推奨使用バケツ】

プラスチック製 ストレートペール缶

(※プラ船バケツ・タフバケツは上手く攪拌できません。)



◆必ず水を入れてから材料を入れて下さい。(※順番を逆にすると珪藻土が吸水するため上手く混ざらない可能性があります。)

◆材料は1袋ずつ攪拌して下さい。(※2袋以上での攪拌は材料が均一に混ざらない可能性があります。)

◆材料は当日中に使用して下さい。(※防腐剤等が入っていない為、材料が腐る可能性があるため必ず当日中に使用して下さい。)

◆材料を放置すると多少、固くなります。その際は加水して材料を柔らかくするのではなく、再度、攪拌すれば材料が元通りに戻ります。

◆冬季の場合、水温が極端に低い水で材料を練ると、内容成分である「食品のり」が溶けにくくダマが発生しやすくなり、攪拌に時間がかかることがあります。

【対処方法】

- ・通常よりも多く攪拌する。
- ・水温を上げる。(※投げ込みヒーター等を使用することをお勧めします。)



※投げ込みヒーター

《攪拌機における注意点》

攪拌機は様々な種類があります。

100種類以上ある左官材料の特性によって使用攪拌機も異なります。

下記にMPパウダー施工時における推奨攪拌機を示します。

～チェックポイント～

◆1000回転以上(回転/分)の攪拌機を使用して下さい。

◆A3の羽を使用して下さい。

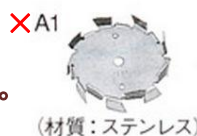
攪拌機の羽にも様々な種類がありますので注意して下さい。

(※A3以外の羽は、上手く攪拌できません。)

【推奨攪拌機】

i: 日立工機(株)→(HITACHI) かくはん機UM15SA

ii: (株)マキタ→(MAKITA) かくはん機UT1305



※塗り厚は、1.5~2mm厚になります。
1.5mm以下で施工すると塗り厚が薄く、パテが透けてくる可能性があります。

《まとめ》

上記項目の手順を怠った場合、下記のような不具合が起きる可能性があります。

- ・表面強度が弱くなり粉落ちがする。
- ・小ヒビが入る。
- ・水が極端に多かった場合、乾燥不良をおこす。